

75歳以上

医療費
2割

血も涙もない 冷酷政治



政府・与党は75歳以上の医療費の窓口負担を単身世帯で年金収入200万円以上を対象に現行の1割から2割に引き上げる方針を決めました。約370万人の人々の窓口負担が一気に2倍になります。

現行の1割負担でも医療費の窓口負担が心配で受診

控えが起こり、重篤な病気や手遅れになる例が後を絶たしません。

新型コロナ感染拡大で、いかに高齢者の命と健康を守るのかが問われているさなかに、受診控えに追い打ちをかける—血も涙もない冷酷な政治といわなければなりません。

対立・分断あおるな

国庫負担引き上げよ

菅政権は今回の措置は“現役世代の負担を減らす”といいます。しかし国は、かつて老人医療費で45%を占めていた国庫負担割合を35%に引き下げ、現役世代の保険料負担に肩代わりさせてきました。世代間の対立をあおり、高齢者に「自助」を迫るのではなく、「公助」=国庫負担の引き上げこそ必要です。



制度解説

衆院選挙
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
小選挙区は「候補者の名前」で

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

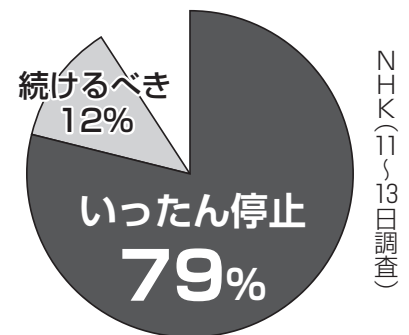
折り目

GoTo

今すぐ止めよ

菅義偉首相が「GoToトラベル」を全国で一時停止することをようやく表明しました。停止期間は28日から来年1月11日まで。決断も遅ければ実行に移すのも遅すぎます。新型コロナ感染の急拡大と医療機関の逼迫は深刻。全国一律の「GoTo」中止を直ちに実

「GoTo」継続か停止か



行し、苦境にある業者を直接支援する対策に切り替えるべきです。

観光・旅行・飲食など

苦境の業者に直接支援を

決断遅すぎ、責任認めず

政府の専門家でつくる分科会が同事業の一時停止を求める提言を繰り返しましたが、菅政権は固執し続けました。感染を抑え込めなかったことは、菅政権による「人災」です。

ところが首相は補正予算の予備費から同事業に約3000億円の追加支出を決め、3次

補正予算案に1兆円超の事業延長の費用を盛り込みました。コロナ対応での無為無策と逆行ぶりの首相には政権担当の資格も能力もありません。危険で有害な政権は国民の手で終わらせるしかありません。

日本共産党

近畿民報

2020年12月 No.2(第442号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を發表しました。